

東京大学ーアジア女性大学合同サマープログラム(於 東京大学)
「身体・環境・サステナビリティ」"Body, Environment and Sustainability"
募集要項

2024.5

【留意事項】

- (1) 募集に関する情報・応募書類等の一部変更される場合があり、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合もある。よって、最新情報を必ず次のウェブサイトを確認すること。
https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/auw_utokyo_summer-2024.html
- (2) 本プログラムは UTokyo Global Unit Courses*の一環として実施される。プログラム内容の企画とプログラム期間中の運営は国際総合力認定制度 Go Global Gateway が主体となって行う。
*UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC) は、[東京大学グローバル教育センター \(UTokyo GlobE\)](#) が提供する海外の学生向けの短期受入プログラムである。世界中の優れた学生が登録するこのプログラムには、東京大学の学生も参加することができる。受講修了者には東京大学グローバル教育センターが発行する「グローバル・ユニット」が付与される(所属学部等が認定する通常の単位は付与されない)。なお、東京大学ーアジア女性大学合同サマープログラムに参加するのは、アジア女性大学と東京大学の学生のみである。
- (3) 本プログラムは、一般財団法人ファーストリテイリング財団からの支援のもと実施される。

1. 概要

「身体・環境・サステナビリティ」"Body, Environment and Sustainability"をテーマに、東京大学とバンラデシュのアジア女性大学 / Asian University for Women (以下、AUW ※1) が合同でサマープログラムを実施する。本プログラムは東京大学を会場に実施し、AUW から受け入れた学部学生 12 名と本学の学部学生が共に学ぶ機会を提供する。なお昨年度は、サマープログラムに続き、春季休業期間中に東大生がバンラデシュに赴き AUW で学ぶウィンタープログラムも実施した。

10 日間にわたって実施される本プログラムでは、東京大学と AUW の学生が共に集い、サステナブルな世界を構築する方法について考える。その際、とりわけ「身体」(body)と「環境」(environment)をキーワードとし、ジェンダー平等、貧困、災害、紛争など、今日の社会が直面する多様な課題を織り込みながら議論を進める(※2)。異なる社会背景を有する両大学の学生が、講義やディスカッションを通して、21 世紀におけるこれらの重要なテーマをめぐる複雑な様相を理解し、共に解決する方法を模索することで、相互理解を深めるのみならず、文化の境界を超えた問題解決能力を養う。なお、本プログラムではアクティブ・ラーニングが中心となる。東京大学と AUW の学生たちが活発に意見を交わすことで、それぞれの将来のキャリアに繋がる新たな知見を体得する機会とする。

プログラム最終日には学生と学内外の関係者も参加するシンポジウムを開催し、プロジェクトの成果を共有する。プログラム終了後には参加者へ修了証が授与される。

また、授業やシンポジウム以外に、日帰りのエクスカッションや文化体験、株式会社ファーストリテイリング役員との面談・同社でのワークショップも予定している(※3)。プログラム期間中、公式セッションの無い時間には、AUW の学生と東京の街を自由に散策し、一緒に文化施設等を訪問したり、食事を共にしたりすることができる。

本プログラムのテーマに関する事前の知識は不要で、学年や専攻する学問領域を問わず広く参加者を募集する。

なお、授業担当教員やシンポジウム講演者については、決定次第、本募集要項に追記される。

※1 アジア女性大学(AUW):バングラデシュのチッタゴンにあり、女性の教育とリーダーシップの涵養を目的として 2008 年に開学した。バングラデシュ、インド、ブータン、アフガニスタン、ミャンマー、シリアなど南アジアを中心に、主に「ファーストジェネレーション」(家族の中で初めて大学に行く世代)の優秀な女性にリベラルアーツ教育を提供している。

ウェブサイト: <https://asian-university.org/>

※2 具体的には東京大学の内外の専門家に講師を依頼し、以下のようなテーマのセッションを設けることを検討している。特にこれらのテーマをグローバルサウス(特に南アジア)の文脈で考える。

- ・健康と身体—「健康であること」とは何か
- ・教育と健康—身体の健康と安全を守るために教育ができること
- ・国境と医療—国境や貧困がもたらす医療格差を考える
- ・性と生殖に関する健康及び権利
- ・難民の生活と身体—女性として/子供として難民キャンプで生きること
- ・テクノロジーと身体—ロボット、AI が「人間」であることの意味にもたらす影響

※3 内容・行程の詳細は、決定次第、随時、本募集要項に追記される。なお、昨年度はフィルムナイトや JICA 訪問(市ヶ谷)、森美術館(六本木)や新大久保へのサイトビジット、山梨県へのエクスカージョン等を実施した。

2. 期間

2024 年 7 月 29 日(月)~8 月 8 日(木) (8 月 4 日(日)は授業等のプログラムは実施しない)

3. 募集人数・対象者

学部学生 10 名

(2018 年 4 月以降入学者については、国際総合力認定制度 Go Global Gateway (GGG) のシステム上で Go Global Statement を提出していることが必須)

4. 費用

17,000 円

(講義受講料のほか、日帰りのエクスカージョンやシンポジウムでのレセプション参加費などを含む)

※プログラム参加決定者は採択後に指定された方法で支払うこと。詳細は採択後に通知する。

※このほか、プログラム外の活動等により発生する交通費等の費用は参加者負担とする。

※やむを得ず講義やエクスカージョン等に不参加となった場合でも、返金は行わない。

5. 学内募集からプログラム終了後までのスケジュール(予定)

6 月 4 日(火) 17 時	Go Global Statement 提出締切
6 月 4 日(火) 17 時	学内応募締切
6 月中旬~下旬	学内選考・結果通知
6 月~7 月	事前オリエンテーション(対面) 1 回
6 月~7 月	AUW の学生との交流セッション(ハイブリッド) 1 回
7 月 29 日(月)~8 月 8 日(木)	プログラムの実施
プログラム終了後	事後課題、GGG アクティビティレポート 提出

※本プログラムは東京大学本郷キャンパス等で実施する。

6. 応募資格・要件

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 2018年4月以降の入学者については、[国際総合力認定制度 Go Global Gateway \(GGG\) のシステム上で Go Global Statement を提出していること。](#)(応募締切日までに Go Global Statement の提出と UTAS での本プログラムへの申請の両方を終える必要があるので注意すること。)
- (2) 中級程度の英語能力 (Common European Framework of Reference for Languages (CEFR ※) の B1~B2 レベル) を保持していること。何らかの英語能力の証明書を提出することが望ましいが、所持していない者も応募できる。ただしその場合は、上記 CEFR の基準を確認の上、応募すること。
※文部科学省 (各資格・検定試験と CEFR との対照表) : https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2018/07/27/1407616_003.pdf
- (3) 応募時及びプログラム参加期間を通じて、本学の学部正規課程に在籍していること (プログラム期間中に卒業等により本学学籍を失う者は参加できない)。
- (4) 本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、全日程参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの参加可能人数には上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の機会を失うことにつながるため、応募後の辞退は原則として認められない。
- (5) 所属学部において、本プログラムへの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮措置は取られず「欠席」扱いとなること、また、欠席による追試験の申請理由にもならないことを理解すること。なお、詳細は所属学部を確認すること。
- (6) 本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で UTAS 申請画面の所定欄に了承を得た日付を記入すること。該当する教員等がない場合は、所定欄に「指導教員なし」と入力すること (7. 応募方法・応募書類 (3))。
- (7) 海外大学からの学生との授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること。

7. 応募方法・応募書類

- (1) 本プログラムは海外への派遣を伴わないが、応募は学務システム (UTAS) の「海外派遣」機能を通じて受け付ける。応募締切日時までに UTAS からの電子申請を完了させること。

◇ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられ、申請は一切受け付けない。また大きな不備 (特に募集要項や UTAS 電子申請画面に表示される青字の説明に沿っていない不備) のある申請は締切前に申請を完了しても受理されない可能性があるため、余裕を持って書類を作成・確認し、応募すること。応募締切後も差し戻しの場合があるため (応募締切直前の申請は特に、UTAS で配信される差し戻しのメールをよく確認のこと)、申請について差し戻しを受けた場合は、差し戻しメールに記載された修正版再提出の締切日時までに再提出すること (再提出がこの締切に間に合わなければ応募は不受理となる)。

- (2) 本プログラムは UTokyo Global Unit Courses (GUC ※) の一環として実施されることから、応募に際しては GUC への出願に必要な以下の書類の確認・提出が求められる。

これらの書類は、本募集要項とともに掲出されるリンク先、もしくは、7. 末尾の【応募書類指定書式のダウンロード先】よりダウンロードすること。

※UTokyo GUC: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-oncampus-guc.html>

- ◇ **Consent Form (PDFファイル)** :
内容を確認のうえ、記載内容について了解する旨と氏名・日付を「14. Consent Form」の欄に記入すること。
- ◇ **Statement of Purpose (Excelファイル)** :
ファイル内に記載の指示に従ってStatement of Purposeを記入すること(英語、最大300Words)。ファイル名の冒頭には氏名を入力し、記入済みのファイルは、**Excelフォーマットのまま**、「17. 添付資料」へアップロードすること。
- ◇ **Terms and Conditions (PDFファイル)** :
内容を確認のうえ、「15. 募集要項、GUC Program Terms and Conditions に記載の事項について」の欄に「はい」と入力すること。

(3) UTAS電子申請画面に表示される指示・説明をよく確認し、その通りに入力すること(以下は特に注意が必要な項目)。

- ◇ 「2. 基本情報」及び「4. 家族等関係者の連絡先」は申請画面では記入・変更できない。そのため記入または変更が必要な場合は、応募時の所属学部を担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
- ◇ 「3. 申請者本人の連絡先」E-Mailは、本プログラムに関するやり取りに使うため、添付ファイル等も受信できる利用し易いメールアドレスとすること。
- ◇ 「6. プログラム中の所属・学年」指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「16. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。
- ◇ 「7. 成績評価係数」について、東京大学以外の高等教育機関で単位を取得した場合は学外成績証明書(成績評価基準が分かる部分を含むこと)を提出すること。なお、2024年4月入学者の場合、評価係数は「0.00点」と表示されるが、本部国際教育推進課での受領・確認時に換算するため、出願者による入力等は不要である。
- ◇ 「13. 連絡先メールアドレスについて」は、UTAS上の指示に沿って確認・入力すること。

(4) 電子申請時に「17. 添付資料」でアップロードする書類については以下を参照すること。

応募書類	対象者	提出方法・備考
学外成績証明書(評価基準が分かる部分を含むこと) *PDF形式	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で単位を取得した場合は提出すること。原本をもとに、「7. 成績評価係数」を入力すること。
語学能力証明書 *PDF形式	語学能力証明書を保持している場合は提出すること。	
TOEFL iBT, IELTS *PDF形式	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合は要提出(※1・※2)。証明書が複数ある場合には、全て一つのファイル(PDF)にまとめて提出すること。
TOEFL iBT, IELTS以外 *PDF形式		
英語能力試験等を受験していない場合	該当者のみ	電子申請時に「9. 語学能力」にその旨を入力すること。
Statement of Purpose *Excel形式	全員	指定書式(後述するリンク先よりダウンロードすること)に記入の上、Excel形式で「17. 添付資料」へアップロードすること。

(※1) 語学能力証明書 (TOEFL iBT, IELTS) (応募締切日時点で、有効期限内のものとする。有効期限は各試験実施団体等のホームページ等の公式情報を参照のこと。)

次のいずれかの提出を受け付ける。

- TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの写し (TOEFL iBT については受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)。

(※2) 語学能力証明書 (TOEFL iBT, IELTS 以外)

TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアを所持していない者や、TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアに加えて他の語学能力証明書を持っている者は、以下のいずれかを提出することができる。

- TOEFL ITP、TOEIC、実用英語技能検定のスコアの写し。
- その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写し及び、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ)。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- 英語以外の語学能力試験のスコアの写し。

【電子申請応募先】

学務システム (UTAS) にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申請すること (「プログラム申請の手引き」(UTokyo Account でのサインインが必要) を参照すること)。

◇ 学務システム (UTAS) : <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

◇ プログラム申請の手引き : https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/s/msteams_8b031a/EILn5k0cpoBPIV524yhN6i8BUIdITiqymjB8PaGY-SWepQ?e=MuCIFO

【応募書類指定書式のダウンロード先】 (UTokyo Account でのサインインが必要)

https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/s/msteams_8b031a/EgMdB9cFka9Mkd6b5MygsKcBdWbrcnXr7-zz3wCgug9VJg?e=ZfOGR

8. 応募締切

2024 年 6 月 4 日 (火) 17 時 (日本時間)

9. 選考

- (1) 原則、選考は書類審査による。
- (2) 合否結果等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に UTAS での申請時に記載した電子メールアドレスを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。
- (3) 申請時に並行して他のプログラムへの参加を申請中、あるいは参加が決定している場合は、その旨を UTAS での申請時に「10. 併願状況」欄に記入すること。

10. 選考通過～プログラム参加の際の留意事項

- (1) プログラムへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡して伝えておくこと。
- (2) 事前オリエンテーションおよび AUW の学生との交流セッションに必ず参加すること。
- (3) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞

なく、本部国際教育推進課国際総合力認定制度担当 (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に連絡すること。

- (4) プログラムの趣旨を理解のうえ十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了するよう努めること。
- (5) プログラム中に動画や写真の撮影があること、また、将来それらが国際総合力認定制度の広報素材や本学の教育素材として使用される可能性があることを予め了承すること。

11. 事前オリエンテーション・AUW の学生との交流セッション

6月から7月にかけて実施される、事前オリエンテーション(対面形式)1回およびAUWの学生との交流セッション(ハイブリッド形式※)1回に必ず参加すること。それぞれ1時間程度の実施を予定している。実施日時等は決定次第参加決定者に通知する。

※本学からの参加決定者は本郷キャンパス内の指定の教室に集まり、AUWとオンラインで繋ぐ形を予定している。

12. 参加後の報告等

- (1) プログラム終了後に事後課題および国際総合力認定制度 Go Global Gateway のアクティビティレポートを提出すること(提出するレポートのカテゴリーは「2. 授業・コース」もしくは「4. 国際交流活動」とすること)。なお、提出期日等は別途指定する。
- (2) UTAS での応募時に記入した住所や電話番号、メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課国際総合力認定制度担当 (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) へ連絡すること。プログラム終了後も必要事項の連絡の際に必要となるため留意すること。
- (3) 参加学生には、プログラム参加後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

13. 問い合わせ先

※電子メールで問い合わせる際には、必ず件名・氏名・学籍番号・所属・学年・電話番号を明記すること。

本部国際教育推進課国際総合力認定制度担当 (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

14. 参考情報

昨年度実施されたアジア女性大学との合同プログラム(サマープログラム・ウィンタープログラム)の様子は、東京大学グローバル教育センター(UTokyo GlobE)のウェブサイト上で公開されている。

◇2023年度サマープログラム(2023/8/1~8/10 於東京大学)

- ・実施報告:https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_230801.html
- ・シンポジウム:https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_230810.html
- ・ドキュメンタリー映像:https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_231010.html

◇2023年度ウィンタープログラム(2024/2/23~3/5 於アジア女性大学)

- ・実施報告:https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_240303.html

(参考資料)

プログラムのスケジュール (2024/5/8 現在)

【講義のタイトルや担当講師など、プログラム内容の詳細は決定次第随時更新する。】

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
	July 29	July 30	July 31	August 1	August 2	August 3	August 4
8:30 - 10:00	Welcome Party (Time: TBA)	Orientation & Campus tour	Class 2	Class 4 Visit to Fast Retailing Co., Ltd.	Class 5	Excursion	No classes
10:30 - 12:00		Class 1	Class 3		Class 6		
13:00 - 14:30*		Japanese Class 1	Japanese Class 2		Japanese Class 3		
		Activities with AUW students					
	August 5	August 6	August 7	August 8			
8:30 - 10:00	Class 7	Class 9	Group Discussion & Preparation for the Symposium	Symposium & Farewell			
10:30 - 12:00	Class 8	Class 10					
13:00 - 14:30	Japanese Class 4	Japanese Class 5					
	Activities with AUW students	Review Session					

*Japanese Classes 1-5: AUW の学生のみ、13:00-14:30 に日本語の授業を履修する。